

付 属 資 料

1 . 調 査 日 程 表

1-1 第 1 次事前評価調査団日程表

1-2 第 2 次事前評価調査団日程表

1-3 第 3 次事前調査団日程表

2 . PDM、PO

3 . R/D

4 . M/M

4-1 第 1 次事前評価調査団締結

4-2 第 2 次事前評価調査団締結

4-3 第 3 次事前調査団締結

5 . C/P 組織概要

6 . 要請書

1. 調査日程表

第1次事前評価調査日程

| 日時 | | 担当 | | | 宿泊先 |
|------|---|---|--|---|-----------------------|
| | | 堀(総括)、渋谷(協力計画) | 加藤(木材加工) | 稲本(アドバイザー) | |
| 3/17 | 水 | 移動[1900成田発] | 移動[1900成田発] | | 機内 |
| 3/18 | 木 | 移動[サンパウロ経由 1345ベレーン着] ・ベレーン支所打合せ ・エミリオ・ゲルジ博物館視察 | 移動[サンパウロ経由 1345ベレーン着] ・製材・木工業者調査 | | ベレーン |
| 3/19 | 金 | *「東部アマゾン森林保全・ 環境教育」関連 ・北伯群馬県人会との面談 ・各関係機関との意見交換 ・アマゾン群馬の森視察 | ・製材・木工業者調査 | | ベレーン |
| 3/20 | 土 | ・資料整理 | | | マカパ |
| 3/21 | 日 | 移動[1300ベレーン-1345マカパ] ・団員打ち合わせ ・市内視察 | | 移動[1710成田発-トロント経由] | マカパ/機内 |
| 3/22 | 月 | ・アマパ州政府及び関係機関の表敬 ・商工局訪問 ・福祉学校及び関連する技術学校の視察 | | 移動[サンパウロ経由 2410マカパ着] | マカパ |
| 3/23 | 火 | ・ヴァルゼア地帯及び近郊の農家の視察 ・IEPA及び関係機関が実施するプロジェクトの視察 | | | マカパ |
| 3/24 | 水 | ・C/P機関との協議 | ・製材・木工業者の視察(C/P機関との協議) | | マカパ |
| 3/25 | 木 | ・C/P機関との協議 | ・製材・木工業者の視察(C/P機関との協議) | | マカパ |
| 3/26 | 金 | ・C/P機関との協議 | | 移動[マカパートメマス] *「東部アマゾン森林保全・環境教育 プロジェクト」の調査へ) | マカパ /ベレーン |
| | | ・C/P機関との協議 | | | |
| 3/27 | 土 | ・ミニッツ修正 ・他のドナープロジェクト視察 ・書類整理 | | | マカパ |
| 3/28 | 日 | ・ミニッツ修正 ・IPAM活動視察 ・書類整理 | | | マカパ |
| 3/29 | 月 | ・C/P機関との協議 ・ミニッツ署名 移動[1415マカパ-1500ベレーン] ・ベレーン事務所報告 | | | ベレーン |
| 3/30 | 火 | 【堀総括】 移動[0730ベレーン- 0957ブラジリア] ・ブラジル事務所、大使館報告 ・ABC表敬 移動[1912ブラジリア-] 【渋谷団員】 移動[ベレーン-トメマス] ・トメマス視察 | 移動[0700ベレーン- 1210サンパウロ] ・サンパウロにて調査 | | 機内 /トメマス /サンパウロ |
| 3/31 | 水 | 【渋谷団員】 ・トメマス視察 移動[トメマス-ベレーン] | ・サンパウロにて調査 | | ベレーン /サンパウロ /機内 |
| 4/1 | 木 | 【堀総括】 1620成田着 【渋谷団員】 移動[ベレーン-マナウス] ・マナウス森林案件視察 | ・サンパウロにて調査 移動[サンパウロ-] | マナウス /機内 | |
| 4/2 | 金 | ・マナウス視察 | 移動[機内] | マナウス /機内 | |
| 4/3 | 土 | 移動[2350サンパウロ発-] | 1335成田着 | 機内 | |
| 4/4 | 日 | 移動[機内] | | 機内 | |
| 4/5 | 月 | 移動[1335成田着] | | | |

第2次事前評価調査日程

| 日時 | | 担当 | | | 宿泊地 |
|------|---|----------|--|---|--------|
| | | 山口部長(総括) | 稲森(協力計画) | 水野(計画分析) | |
| 8/27 | 金 | 1 | | 移動(RG8837) 〔成田発19:10→〕 | 機内 |
| 8/28 | 土 | 2 | | 移動〔→サンパウロ経由 ベレーン着13:45〕 | ベレーン |
| 8/29 | 日 | 3 | | 打ち合わせ (アマゾンオフィス) 移動〔ベレーン発13:00 →マカパ着13:45〕 | マカパ |
| 8/30 | 月 | 4 | | 調査目的説明 (IEPA、SEICOM等) | マカパ |
| 8/31 | 火 | 5 | | 現地調査 | マカパ |
| 9/1 | 水 | 6 | | 現地調査 | マカパ |
| 9/2 | 木 | 7 | | 現地調査 | マカパ |
| 9/3 | 金 | 8 | | 現地調査 | マカパ |
| 9/4 | 土 | 9 | | 現地調査 | マカパ |
| 9/5 | 日 | 10 | | 現地調査 | マカパ |
| 9/6 | 月 | 11 | | 現地調査 | マカパ |
| 9/7 | 火 | 12 | | 現地調査 | マカパ |
| 9/8 | 水 | 13 | | 現地調査 | マカパ |
| 9/9 | 木 | 14 | | 現地調査 | マカパ |
| 9/10 | 金 | 15 | | 現地調査 | マカパ |
| 9/11 | 土 | 16 | | 調査資料整理 | マカパ |
| 9/12 | 日 | 17 | | 調査資料整理 | マカパ |
| 9/13 | 月 | 18 | | プロ・ドク作成 | マカパ |
| 9/14 | 火 | 19 | | プロ・ドク作成 | マカパ |
| 9/15 | 水 | 20 | 移動(JL048) 〔成田発19:10→〕 | プロ・ドク作成 | マカパ |
| 9/16 | 木 | 21 | 移動(RG2266) 〔→サンパウロ経由 ベレーン着13:45〕 | プロ・ドク作成 | マカパ |
| 9/17 | 金 | 22 | 群馬の森視察 調査打ち合わせ | プロ・ドク作成 | 機内/マカパ |
| 9/18 | 土 | 23 | 資料整理 | 移動(JL048)〔成田発19:10→〕 | ベレーン |
| 9/19 | 日 | 24 | 資料整理 団内協議 | 移動(RG2266)〔→サンパウロ経由 ベレーン着13:45〕 | マカパ |
| 9/20 | 月 | 25 | 日本領事館表敬 移動(JJ3896)〔ベレーン発13:00-マカパ着13:45〕 マカパ州科学技術研究所(IEPA)、商工鉱局(SEICOM)等調査目的説明 | | マカパ |
| 9/21 | 火 | 26 | 現地視察(ヴァルゼア、木材加工の実態調査) | | マカパ |
| 9/22 | 水 | 27 | アマパ州科学技術研究所(IEPA)、商工鉱局(SEICOM)等から情報収集、問題分析 | | マカパ |
| 9/23 | 木 | 28 | アマパ州科学技術研究所(IEPA)、商工鉱局(SEICOM)等から情報収集、問題分析 | | マカパ |
| 9/24 | 金 | 29 | 現場視察(プロジェクトサイトの経済調査) | | マカパ |
| 9/25 | 土 | 30 | 収集情報整理 | | マカパ |
| 9/26 | 日 | 31 | C/P機関との実施協議、プロドク協議 | | ベレーン |
| 9/27 | 月 | 32 | ミニッツ署名 移動(JJ3897)〔ベレーン発15:20→ブラジリア着17:51〕 | | ブラジリア |
| 9/28 | 火 | 33 | JICAブラジル事務所、大使館、ABC報告 移動(RG2267)〔ブラジリア発17:28→サンパウロ経由(JL047)→〕 | | サンパウロ |
| 9/29 | 水 | 34 | 移動(JL047)〔機内〕 | | 機内 |
| 9/30 | 木 | 35 | 移動(JL047)〔→13:00成田着〕 | | |

第3次事前調査日程表

| 日時 | | 担当 | | | 宿泊地 | |
|------|---|----------|--|--|-----------------------|---------------|
| | | 小川T長(総括) | 笠原(協力計画) | 塚地氏 (森林行政) | | |
| 7/12 | 月 | 1 | 移動[成田発(JL006)12:00→ ニューヨーク着11:30] [ニューヨーク発(RG8865) 19:59→] | | | 機内 |
| 7/13 | 火 | 2 | 移動[→サンパウロ着06:30 サンパウロ発(JJ3744)09:00 →ブラジル着10:37] 11:30 調査方針協議(ブラジル事務所) 14:30 日本大使館表敬 (16:00 調整員補佐候補者面接) 18:00 ABCとの打ち合わせ | | | ブラジル |
| 7/14 | 水 | 3 | 移動[ブラジル発(RG2204)11:16 →マナウス着13:00] 15:00 INPAとの打合せ | 移動[成田発(JL048)19:10→] | | マナウス /機内 |
| 7/15 | 木 | 4 | INPAとの打合せ 移動[マナウス発(RG2205)14:25 →ブラジル着18:09] 移動[ブラジル発(RG2208)20:50→] | 移動[→サンパウロ着7:00] [サンパウロ発(RG2250)17:45 →ベレーン着22:55] [ベレーン発(RG2208)23:40→] | 移動 [サンパウロ →マカパ] | マカパ |
| 7/16 | 金 | 5 | 移動[→マカパ着00:30] 09:00 SEDE表敬 09:30 C/P機関との協議(方針説明) 14:00 協議継続 17:30 C/Pのプロジェクト準備状況調査 | | | マカパ |
| 7/17 | 土 | 6 | 07:00- 現場視察(マザガウンペーリヨ) | | | マカパ |
| 7/18 | 日 | 7 | 団内協議・MM作成 | | | マカパ |
| 7/19 | 月 | 8 | 08:30-12:00 M/M協議 懇親会(州主催) 15:00- フォロー機材贈呈式(養護学校) 及びフォロー機材確認 18:00- M/M署名(州知事) | | | マカパ |
| 7/20 | 火 | 9 | 移動[マカパ発(JJ3449)06:00 →ブラジル着09:45] 11:00 ブラジル事務所報告 14:30 大使館報告 移動[ブラジル発(JJ3745)18:30 →サンパウロ着20:10] | ・短期専門家活動のフォロー ・アマパ州における家具産業の現状調査 | | サンパウロ /マカパ |
| 7/21 | 水 | 10 | *他案件調査へ(コロンビア) | 09:00- WWFとの協議 11:00- IBAMAとの協議 移動[マカパ発(JJ3897)14:15 →ブラジル着17:50] | 移動 [マカパ→ サンパウロ] | 機内 |
| 7/22 | 木 | 11 | | ブラジル事務所報告 移動 [ブラジル発(RG2267)19:12 →サンパウロ着20:45] [サンパウロ発(JL047)23:50→] | | 機内 |
| 7/23 | 金 | 12 | | 移動 | | 機内 |
| 7/24 | 土 | 13 | | 移動[→成田着13:00] | | |

PDM (JPN)

Project Name: アマバ州氾濫原における森林資源の持続的利用計画
 Period of Cooperation: 3.5年 (2005年11月2日~2009年5月1日)
 Implementing Agency in Beneficiary Country: SEDE、IEPA、SEICOM、SEAF、SETEC、EMBRAPA、SEBRAE、SENAI (*1)
 Project Area: マザガウン郡マザガウンペーリョ周辺の氾濫原地帯 Target Group: 氾濫原に居住する川岸住民

Ver.No: 1
 日付: 2006.05

| NARRATIVE SUMMARY | OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS | MEANS OF VERIFICATION | IMPORTANT ASSUMPTIONS |
|--|---|--|--|
| Overall Goals アマバ州氾濫原対象地域の森林資源が持続的に活用され、川岸住民の生計が改善される。 | ・アマバ州氾濫原対象地域の森林面積の減少率が緩和される。 ・対象地域でプロジェクトの支援で導入または技術改善された農林産物(*2)の生産量が終了時に比べ増加する。 | ・データ比較。 | |
| Project Purpose アマバ州氾濫原の対象地域において、川岸住民の生計向上に資する森林資源の活用方法が改善される。 | 対象地域においてプロジェクト終了時までプロジェクト開始時よりも -森林の持続的管理計画による、合法伐採の割合が増加する。 -農林産物が増加する。 -家具用に規格化され利用される木材が増える。 | ・C/P機関による調査。 | ・州政府関係機関に大幅な組織改編が行われない。 ・対象地域への新規移住者の数が急増しない。 |
| Outputs 1 アマバ州政府に対象地域氾濫原における森林資源の持続的活用のための体制が整う。 | 1-1 氾濫原における森林資源の持続的利用のための基本方針が策定される(実施体制、地域住民を含めた定期的な協議、方針のモニタリング方法に関する記述等を含む)。 1-2 州政府機関内に氾濫原専門に担当する部署が設置される。 | ・策定された基本方針。 | ・川岸住民の収入に影響を与えるような急激な地域経済の変動が起こらない。 |
| 2 川岸住民とプロジェクト実行部隊が連携し、持続的森林経営が実践される。 | 2-1 農林組合が立ち上がり、森林部会組織率が35%を超える。 2-2 プロジェクトサイトにおいて、300haの持続的森林経営が実践されている。 | ・SEAFによる調査。 | |
| 3 川岸住民がプロジェクト実行部隊と連携し、アグロフォレストリーが実践される。 | 3-1 農林組合が立ち上がり、アグロ部会組織率が35%を超える。 3-2 60haの農地においてアグロフォレストリーが実施されている。 | ・SEAFによる調査。 | |
| 4 川岸住民と家具産業の連携体制が構築される。 | 4-1 アマバ州の家具業者の内、最低60軒がプロジェクトサイトから産出された木材を使用するようになる。 | ・SEICOMIによる調査。 | |
| Activities [準備期間:6ヶ月] 0-1 対象地域候補地の現状(自然条件・社会条件など)について調査を行う。 0-2 アマバ州政府の氾濫原に対する施策の現状を整理・把握する。 0-3 氾濫原から生産されている農産物の市場・流通の現状を調査する。 0-4 ブラジル国内の家具製品市場について調査を行う。 0-5 調査の結果に基づき、PDM(案)と活動計画(案)を見直し、具体的な指標を設定する。 [本格実施:3年間] 1-1 川岸住民の意見を踏まえた氾濫原における森林資源の持続的利用のための基本方針を作成させる。 1-2 アマバ州政府は、作成された基本方針を広く周知する。 1-3 氾濫原における森林資源の持続的利用を担当する組織体制を整備する。 1-4 川岸住民を含めた関係機関間で氾濫原の持続的利用に向けた協議の場を定期的に設ける。 2-1 川岸住民によるアグロフォレストリーも含めた農林協会を立ち上げる。 2-2 農林協会の経営能力強化を図るためモニタリング、研修を実施する。 2-3 農林協会が、IBAMAまたはSEMAのマネージョを取得する。 2-4 プロジェクト実行部隊の連携により農林協会が、マネージョプランを実行する。 3-1 アグロフォレストリー部会は、コミュニティごとに協議の場を設け、専門家と実行部隊の支援を得て、その土地にあった実行計画を立てる。 3-2 川岸住民は、計画に従ってアグロフォレストリーを実践する。 3-3 アグロフォレストリー部会は、生産物を取りまとめ有利販売を行う。 4-1 農林協会と家具業界との間で、連携体制が構築されるための情報交換会議を定期的に開催する。 4-2 農林協会と木工センターの間で、木材供給について契約が締結される。 4-3 連携体制を継続発展させるため家具業界の企業力を高める。 | Inputs 日本側 ・長期専門家(2名); テーフアドバイザー/森林行政・管理技術、木材加工/業務調整 ・短期専門家(ローカル人材も含む); アグロフォレストリー、マーケティング、環境教育、農村社会調査他 ・供与機材: 車両、移動用ボート、木材加工機材、事務関連資機材他 ・研修員受入; 森林行政・管理技術、木材加工等、必要に応じて年間2~3名程 ・現地活動費 ブラジル側 ・カウンターパート; プロジェクトディレクター、プロジェクトマネージャー、州関係機関スタッフ他 ・施設、土地の提供; プロジェクト事務所、試験圃場 | ・対象地域において深刻な自然災害や気候変動が起こらない Pre-conditions: | |

*1 SEDE:アマバ州経済特別開発局、IEPA:アマバ州科学技術研究所、SEICOM:アマバ州商工館局、SEAF:アマバ州農林水産局、SETEC:アマバ州科学技術局、EMBRAPA:ブラジル農牧研究公社、SEBRAE:ブラジル零細・小企業支援サービス、SENAI:全国工業職業訓練機関
 *2 農林産物とは、農産物及び非木材林産物を指す。

41

2. PDM, PO

| 0 | Período preparatório | 準備期間 | IEPA | 2005/11/2 | 2006/4/30 |
|---------|--|---|-------------------------------|-----------|-----------|
| 0-1 | Estudar a atual situação (condições naturais, condições sociais, etc) das áreas-objeto selecionadas tentativamente. | 対象地域候補地の現状(自然条件・社会条件など)について調査を行う。 | IEPA EMBRAP A IPAM | 2005/11/2 | 2006/4/30 |
| 0-1.a | Esclarecer e acordar o critério básico para seleção da área-objeto. | 対象地域選定のための選択基準を明確化し、合意する。 | IEPA EMBRAP A IPAM | 2005/11/2 | 2006/2/2 |
| 0-1.b | Identificar pelo menos duas áreas-objeto em potencial, incluindo Mazagão Velho. | マザガウンペーリヨを含め少なくとも2カ所の対象地域候補地を選定する。 | IEPA EMBRAP A IPAM | 2005/11/2 | 2006/2/2 |
| 0-1.c | Conduzir estudo sócio-econômico e estudo da vegetação da área-objeto em potencial, para obtenção de informações básicas. | 対象地域候補地の社会経済調査、植生調査を行い、基礎的な情報を得る。 | IEPA EMBRAP A IPAM | 2005/11/2 | 2006/4/30 |
| 0-1.d | Selecionar área-objeto. | 対象地域を確定する。 | IEPA EMBRAP A IPAM | 2005/11/2 | 2006/4/30 |
| 0-2 | Obter e organizar a atual medida política do Governo do Estado do Amapá, junto à várzea. | アマパ州政府の氾濫原に対する施策の現状を整理・把握する。 | SEDE | 2005/11/2 | 2006/2/2 |
| 0-2.a | Obter informações concernentes a legislação, decretos, estruturas relacionadas ao meio ambiente no Estado do Amapá. | 州の環境に関わる法律・政令・体制を把握する。 | SEMA 全機関 | 2005/11/2 | 2006/2/2 |
| 0-2.b | Obter informações concernentes à instituições governamentais relacionadas a várzea. | 氾濫原に関係する行政機関を把握する。 | SEMA 全機関 | 2005/11/2 | 2006/2/2 |
| 0-2.c | Organizar os pontos problemáticos relacionados à várzea. | 氾濫原における問題点を整理する。 | SEMA 全機関 | 2005/11/2 | 2006/2/2 |
| 0-3 | Pesquisar a situação atual do mercado e distribuição de produtos agrícolas produzidas na várzea. | 氾濫原から生産されている農産物の市場・流通の現状を調査する。 | SEAF | 2005/11/2 | 2006/4/30 |
| 0-3.a | Realizar pesquisa de mercado dos produtos agrícolas (volume de demanda, espécies, faixa de preços, potencialidade) no Estado. | 州内の農産物の市場調査(需要量、種類、価格帯、ポテンシャル)を行う。 | SEAF SEICOM | 2005/11/2 | 2006/2/2 |
| 0-3.b | Pesquisar volume de distribuição e rotas de produtos agrícolas para for a do Estado. | 農産物の州外への流通量・経路を調査する。 | SEAF SEICOM | 2005/11/2 | 2006/2/2 |
| 0-3.c | Pesquisar espécies e volume de produtos agrícolas produzidos na área-objeto do Projeto. | プロジェクト対象地域から生産されている農産物の種類・量を調査する。 | SEAF SEICOM | 2005/11/2 | 2006/2/2 |
| 0-3.d | Identificar produtos agrícolas que possam ser produzidas de forma sustentável nas várzeas e com alto potencial de mercado. | 氾濫原から持続的に生産することができる市場性の高い農産物を特定する | SEAF SEICOM EMBRAP A | 2005/11/2 | 2006/4/30 |
| 0-4 | Realizar pesquisa de mercado de móveis no mercado interno. | ブラジル国内の家具製品市場について調査を行う。 | SEICOM | 2005/11/2 | 2006/4/30 |
| 0-4.a | Efetuar pesquisa do atual mercado de móveis no Estado (volume de produção, espécies de madeiras preferidas, desenho, faixa de preços, etc.) | 州内の家具市場の現状(生産量、好まれる樹種、デザイン、価格帯など)の調査を行う。 | SEICOM | 2005/11/2 | 2006/2/2 |
| 0-4.b | Realizar a pesquisa de mercado de móveis nos outros estados do Brasil (volume de produção, espécies de madeiras preferidas, desenho, faixa de preços, etc.) | ブラジル国内の他州の家具市場の現状(生産量、好まれる樹種、デザイン、価格帯など)の調査を行う。 | SEICOM | 2005/11/2 | 2006/2/2 |
| 0-4.c | Pesquisar a potencialidade de venda de móveis que utilizam madeiras produzidas na várzea. | 氾濫原から生産される木材を用いた家具の販売ポテンシャルを調査する。 | SEICOM | 2005/11/2 | 2006/4/30 |
| 0-4.d | Dentro das madeiras produzidas na várzea, pesquisar potencialidade das espécies adequadas para produção de móveis, bem como a potencialidade do volume de produção. | 氾濫原から生産される木材のうち、家具生産に適した樹種及びその生産量のポテンシャルを調査する。 | SEICOM IEPA EMBRAP A | 2005/11/2 | 2006/4/30 |
| 0-4.e | Identificar o mercado de móveis que terá o apoio e implementação através das atividades do Projeto, e estudar desenhos dos móveis a serem produzidos. | プロジェクト活動を通して支援・推進する家具の市場を特定し、生産する家具のデザインなどを検討する。 | SEICOM | 2005/11/2 | 2006/4/30 |
| 0-4.f | Pesquisar a situação atual dos moveleiros (nível técnico, número de pessoas que trabalham na área, renda, sistema de gerenciamento, etc.) | 家具加工業者の現状(技術レベル、従事者数、収入、経営形態など)を調査する。 | SEICOM | 2005/11/2 | 2006/2/2 |
| 0-5 | Com base nos resultados da pesquisa, efetuar a revisão do PDM (proposta) e Plano de Operação (proposta) e estabelecer um indicador concreto. | 調査の結果に基づき、PDM(案)と活動計画(案)を見直し、具体的な指標を設定する。 | SEDE 全機関 | 2006/2/3 | 2006/4/30 |
| 1 | Será estabelecido no Governo do Estado do Amapá, uma estrutura técnica de uso sustentável de recursos florestais da várzea na área do projeto. | アマパ州政府に対象地域氾濫原における森林資源の持続的利用のための体制が整う。 | arandy (SEDE) | 2006/5/10 | 2009/4/30 |
| 1-1 | Elaborar Diretriz Básica para o uso sustentável de recursos florestais na várzea, levando em consideração as opiniões dos ribeirinhos. | 川岸住民の意見を踏まえた氾濫原における森林資源の持続的利用のための基本方針を作成する。 | arandy (SEDE) | 2006/6/12 | 2006/7/10 |
| 1-1.a | Criar uma comissão formado pelos representantes do Governo do Estado, Governo Federal ONG, Prefeitura de Mazagão e representante da Comunidade ribeirinha para elaborar Diretriz Básica. | 州政府、連邦政府、NGO、マザゴ市 川岸住民代表者による基本方針作成委員会を設立する。 | arandy (SEDE) | 2006/6/12 | 2006/6/12 |
| 1-1.a/1 | Instalar uma comissão e a Secretaria Especial de Desenvolvimento Econômico elegerá seus membros. | SEDEが中心となり、委員会メンバーを選出し、委員会を設置する。 | arandy (SEDE) | 2006/6/12 | 2006/6/12 |
| 1-1.b | Comissão realizará seminários nas comunidades ribeirinhas. | 委員会はコミュニティ単位でワークショップを開催する。 | arandy (SEDE) | 2006/6/17 | 2006/6/28 |
| 1-1.c | Comissão vai elaborar diretriz básico baseado nas discussões nos seminários, reuniões trimestrais, reunião do Comitê Gestor de Várzea | 委員会は住民連合総会や、四半期毎の意見交換会及びワークショップでの川岸住民の意見を踏まえ、基本方針を作成する。 | arandy (SEDE) | 2006/6/30 | 2006/7/10 |
| 1-2 | Governo do Estado do Amapá vai divulgar amplamente a diretriz básica elaborada através de | 州政府は、作成された基本方針を普及本などを利用し、広く周知させる。 | admilson (SETEC) | 2006/7/11 | 2009/3/25 |
| 1-3 | Estabelecer um órgão responsável que cuida sobre uso sustentável de recursos florestais da várzea dentro do Governo do Estado do Amapá. | 氾濫原における森林資源の持続的利用を担当する組織体制を州政府機関内に整備する。 | raimundo (SEAF) | 2006/5/10 | 2006/5/31 |

| | | | | | |
|---------|--|---|-----------------|------------|------------|
| 1-3.a | Estabelecer um órgão responsável que cuida sobre uso sustentável de recursos florestais da várzea dentro do Governo do Estado do Amapá. | 中心となる組織を決定し、体制を州政府機関内に整える。 | arandy (SEDE) | 2006/5/10 | 2006/5/31 |
| 1-3.a/1 | SEDE convocará reunião para indicar e apresentar o órgão responsável pela execução. | 組織体制整備検討会議を、SEDEが中心となり、開催する。 | arandy (SEDE) | 2006/5/10 | 2006/5/31 |
| 1-3.a/2 | Estabelecer dentro da gerencia de florestas da SEAF uma equipe técnica para trabalhar com recursos da várzea. | SEAFの中に、バルゼアを専門に担当する部署を作る。 | arandy (SEDE) | 2006/5/10 | 2006/5/23 |
| 1-3.b | Formar uma equipe local executora do projeto composto por 4 pessoas (1 coordenador e 3 técnicos) para dar suporte técnico na área do projeto. | プロジェクトサイトを現地指導する。4人編成の(リーダー1名+技術者3名)の実行部隊「プロジェクト実行部隊」を設置する。 | raimundo (SEAF) | 2006/5/10 | 2006/5/31 |
| 1-3.b/1 | Realizar reunião para indicar o órgão responsável e definir a equipe de trabalho. | 組織体制整備検討会議の中で、実行部隊の人選もあわせ行う。 | arandy (SEDE) | 2006/5/10 | 2006/5/30 |
| 1-3.b/2 | SEAF unificará a equipe com o estabelecimento de escritório na sua sede em Macapá como órgão responsável | 実行部隊の事務所を、マカパSEAF内へ設置しSEAFが統括する。 | raimundo (SEAF) | 2006/5/30 | 2006/5/31 |
| 1-4 | Realizar reuniões periódicas entre as instituições envolvidas e ribeirinhos sobre o uso sustentável da várzea. | 川岸住民を含めた関係機関間で委員会が、氾濫原の持続的利用に向けた協議の場を定期的に設ける。 | arandy (SEDE) | 2006/6/13 | 2009/4/30 |
| 1-4.a | Realizar anualmente a reunião do Comitê de Gestão da Várzea Amapaense no Município de Mazagão. | 「アマパ州バルゼア住民連合総会」を、年に一度、マザゴン市において開催する。 | arandy (SEDE) | 2006/10/14 | 2009/4/30 |
| 1-4.b | Realizar reunião de troca de idéias a cada trimestre ou quando necessário, na área do projeto. | プロジェクトサイトにおいて、意見交換を四半期ごとを目処に必要に応じて開催する。 | arandy (SEDE) | 2006/6/13 | 2009/4/30 |
| 1-4.b/1 | Comissão para elaboração da Diretriz Básica convocará as duas reuniões acima. | 上記2つの会議は、基本方針作成委員会が中心となり開催する。 | arandy (SEDE) | 2006/6/13 | 2006/7/11 |
| 1-4.b/2 | SEDE assumirá as ações após a dissolução da comissão de elaboração da Diretriz Básica. | 基本方針作成委員会が解散後、SEDEがこれらの開催業務を引き継ぐ。 | arandy (SEDE) | 2006/7/12 | 2009/4/30 |
| 2 | Equipe executora do projeto em parceria com os ribeirinhos executará o manejo sustentável da floresta. | 川岸住民とプロジェクト実行部隊が連携し、持続的森林経営が実践される。 | raimundo (SEAF) | 2006/6/17 | 2009/5/15 |
| 2-1 | Instalar uma Associação Agro-florestal, incluindo sistemas agroflorestais pelos ribeirinhos. | 川岸住民によるアグロフォレストリーも含めた農林協会を立ち上げる。 | ronaldo (RURAP) | 2006/6/17 | 2006/7/28 |
| 2-1.a | Equipe de execução do projeto realizará nas comunidades ribeirinhas seminário sobre | プロジェクト実行部隊が、コミュニティ単位で協会設立のためのセミナーを開く。 | joao (SEAF) | 2006/6/17 | 2006/6/25 |
| 2-1.a/1 | I Seminário de Mobilização da Micro-Região da Foz Mz. Velho para criação da Associação. Carga horária | マザゴン河口で第1回、協会設立セミナーを8時間行なう。 | ronaldo (RURAP) | 2006/6/17 | 2006/6/17 |
| 2-1.a/2 | I Seminário de Mobilização da Micro-Região da Foz do Maracá para criação da Associação. Carga horária | マラカ河口で第1回、協会設立セミナーを8時間行なう。 | ronaldo (RURAP) | 2006/6/18 | 2006/6/18 |
| 2-1.a/3 | II Seminário de Mobilização para Formação da Comissão Organizadora da Futura Associação da Micro-Região da Foz Mz. Velho. Carga horária 8h. | マザゴン河口で第二回、協会設立セミナーと協会設立のための実行委員会設立セミナーを8時間行なう。 | ronaldo (RURAP) | 2006/6/24 | 2006/6/24 |
| 2-1.a/4 | II Seminário de Mobilização para Formação da Comissão Organizadora da Futura Associação da Micro-Região da Foz do Maracá. Carga horária 8h. | マラカ河口で第二回、協会設立セミナーと協会設立のための実行委員会設立セミナーを8時間行なう。 | ronaldo (RURAP) | 2006/6/25 | 2006/6/25 |
| 2-1.b | Formação da Associação Agro-florestal | 農林協会を立ち上げる。 | ronaldo (RURAP) | 2006/6/30 | 2006/7/25 |
| 2-1.b/1 | 1) Montar com Todos os Participantes a Comissão Organizadora da Futura Associação na Micro-Região da Foz do Maz. Velho. | マザゴンペーリョで、住民参加者全員で総会を行い実行委員会を設立する。 | ronaldo (RURAP) | 2006/6/30 | 2006/6/30 |
| 2-1.b/2 | 1) Montar com Todos os Participantes a Comissão Organizadora da Futura Associação na Micro-Região da Foz do Maracá. | マラカで、住民参加者全員で総会を行い実行委員会を設立する。 | ronaldo (RURAP) | 2006/7/1 | 2006/7/1 |
| 2-1.b/3 | 2) Após Formada a Comissão Organizadora, a mesma Trabalhará junto com a Orientação do RURAP a Elaboração do Estatuto e Outras Peças-Chave desse Processo de Constituição. Na Micro-Região da Foz do Mz. Velho. | マザゴン実行委員会は、RURAPの指導のもと、定款作成を行い、その他助言を受ける。 | ronaldo (RURAP) | 2006/7/8 | 2006/7/8 |
| 2-1.b/4 | 2) Após Formada a Comissão Organizadora, a mesma Trabalhará junto com a Orientação do RURAP a Elaboração do Estatuto e Outras Peças-Chave desse Processo de Constituição. Na Micro-Região da Foz do Maracá. | マラカ実行委員会は、RURAPの指導のもと、定款作成を行い、その他助言を受ける。 | ronaldo (RURAP) | 2006/7/9 | 2006/7/9 |
| 2-1.b/5 | 3) Assembléia de Constituição, que tratará a seguinte pauta: a) Apreciação do Estatuto. B) Eleição e Posse da Diretoria e Conselho Fiscal. | マザゴン、マラカの両実行委員会は、選挙を行い役員を選出し、定款を示す。 | ronaldo (RURAP) | 2006/7/15 | 2006/7/16 |
| 2-1.b/6 | Estabelecer a Associação Agro-florestal encaminhando as documentações para o órgão competente do governo para a aprovação. | 政府商業認可機関へ申請し農林協会を設立する。 | ronaldo (RURAP) | 2006/7/17 | 2006/7/25 |
| 2-1.c | Instalar na Associação, setor de manejo florestal, setor de produção, setor de serraria e setor de sistemas agro-florestais. | 農林協会に森林管理部会、素材生産部会、製材部会、アグロフォレストリー部会を設置する。 | ronaldo (RURAP) | 2006/7/26 | 2006/7/28 |
| 2-2 | Para fortalecer a capacidade administrativa da Associação Agro-florestal será feita um monitoramento e executado cursos de treinamento. | 農林協会の経営能力強化を図るためモニタリング、研修を実施する。 | ronaldo (RURAP) | 2006/8/29 | 2009/4/30 |
| 2-3 | Associação vai solicitar licenciamento do plano de manejo junto ao IBAMA ou SEMA. | 農林協会が、IBAMA又はSEMAのマネージョを取得する。 | joao (SEAF) | 2006/7/31 | 2007/12/2 |
| 2-3.a | Fazer o planejamento e efetuar o inventário florestal. | インベントリー調査を行いプランニングを作成する。 | joao (SEAF) | 2006/7/31 | 2006/10/23 |
| 2-3.b | Discutir com Pólo Moveleiro sobre a exploração madeireira para planejar o uso das espécies de madeira e da quantidade desejada. | 樹木の伐採について木工センターと情報交換を行い、計画の中に希望する樹種や数量を反映させプランニングを行う。 | joao (SEAF) | 2006/10/24 | 2006/11/8 |
| 2-3.c | Obter autorização do plano de manejo junto ao IBAMA ou SEMA. | IBAMA又はSEMAに申請し認可を得る。 | joao (SEAF) | 2007/7/30 | 2007/12/2 |
| 2-4 | Execução do plano de manejo pela Associação em parceria com equipe executora do projeto. | プロジェクト実行部隊の連携により農林協会が、マネージョプランを実行する。 | joao (SEAF) | 2006/9/1 | 2009/5/15 |
| 2-4.a | Elaborar o esquema de capacitação e conteúdo, baseado no plano de manejo aprovado | SEAFが、研修内容とスケジュールを作成する。 | joao (SEAF) | 2006/11/9 | 2008/5/19 |

| | | | | | |
|----------|---|---|-----------------|-----------|------------|
| 2-4.a/1 | Introdução de equipamentos e capacitação dos ribeirinhos sobre tecnologia de produção madeireira (tora) com ênfase na preservação da floresta. | 環境保全の視点も取り入れた、素材(丸太)生産技術研修を実施する。 | Joao (SEAF) | 2006/11/9 | 2008/5/19 |
| 2-4.a/2 | Realizar treinamentos para introdução de tecnologia de corte de baixo impacto sobre meio ambiente. | 森林環境へ配慮した伐採方法導入のための研修を行う。 | Joao (SEAF) | 2006/11/9 | 2008/5/19 |
| 2-4.a/3 | Realizar treinamento sobre corte da madeira para aumentar o rendimento da tora | 造材方法の技術向上のための研修を行う。 | Joao (SEAF) | 2006/11/9 | 2008/5/19 |
| 2-4.a/4 | Realizar curso para melhoria das serrarias provocando baixo impacto à natureza | 環境に配慮した製材合理化研修を実施する。 | Joao (SEAF) | 2006/11/9 | 2008/5/19 |
| 2-4.b | Realizar a melhoria dos setores da serraria e a dos produtores com treinamentos do corte e retirada das madeiras. | 素材生産及び製材部門の研究を行い、同部門の改善策を実施する。 | Joao (SEAF) | 2006/11/9 | 2008/5/19 |
| 2-4.b/1 | Realizar experiências com sistemas de baixo custo para retirada das madeiras | 低コスト素材搬出方法の研究を行なう。 | Joao (SEAF) | 2006/11/9 | 2008/5/19 |
| 2-4.b/2 | Realizar experiências com a serraria móvel para verificar a sua funcionalidade | 移動製材の現地適合理化研究を行なう。 | Joao (SEAF) | 2006/11/9 | 2008/5/19 |
| 2-4.b/3 | Realizar experiências para a modernização das serrarias | 製材設備近代化の研究を行なう。 | Joao (SEAF) | 2006/11/9 | 2008/5/19 |
| 2-4.b/4 | Realizar experiência para melhorar a técnica de secagem da madeira em tora | 丸太材での乾燥技術の確立のための研究を行なう。 | Joao (SEAF) | 2006/11/9 | 2008/5/19 |
| 2-4.b/5 | Desenvolver pesquisa de técnica para aproveitamento da costaneira | 端材などの未利用材の利用開発を研究する。 | Joao (SEAF) | 2006/11/9 | 2008/5/19 |
| 2-4.c | Implantar sistema de aluguel do equipamento pela Associação para administração. | 協会による機材のレンタル制度を作り、運営する。 | Joao (SEAF) | 2008/5/20 | 2009/5/15 |
| 2-4.d | Associação dará suporte aos associados em parceria com equipe executora do projeto. | 協会と「プロジェクト実行部隊」による協会員への支援を行う。 | Joao (SEAF) | 2006/9/1 | 2008/1/8 |
| 3 | Implantação de sistemas agro-florestais pelos ribeirinhos através de parceria com equipe executora do projeto. | 川岸住民がプロジェクト実行部隊と連携し、アグロフォレストリーが実践される。 | raimundo (SEAF) | 2006/7/28 | 2009/4/30 |
| 3-1 | Setor reunirá com as comunidades com apoio do consultor e pela equipe executora do projeto para planejar a implantação correta do sistema de acordo com a condição da área. | アグロフォレストリー部会は、コミュニティと共に協議の場を設け、専門家と実行部隊の支援を得て、その土地にあった実行計画を立てる。 | ronaldo (RURAP) | 2006/7/28 | 2007/1/2 |
| 3-1.a | Ribeirinho vai escolher o componente do sistema agro-florestal de acordo com a discussão. | 住民は協議の中で、産地化を念頭に場所と中心となる樹木や作物の選定組み合わせなどを決める。 | ronaldo (RURAP) | 2006/7/28 | 2006/11/7 |
| 3-1.b | Ribeirinho vai elaborar o planejamento anual das culturas com apoio do equipe executora do projeto. | 住民は、実行部隊の支援を受け、作目の年間予定を作成する。 | ronaldo (RURAP) | 2006/7/28 | 2006/11/7 |
| 3-1.c | Setor vai elaborar o plano operacional da Associação atendendo a demanda dos associados. | アグロフォレストリー部会は、住民の実行計画をとり纏め、協会の実行計画として作成する。 | ronaldo (RURAP) | 2006/11/8 | 2007/1/2 |
| 3-2 | Os ribeirinhos praticarão sistemas agro-florestais de acordo com o projeto elaborado. | 住民が、計画に従ってアグロフォレストリーを実践する。 | ronaldo (RURAP) | 2007/1/3 | 2009/4/30 |
| 3-2.a | Realizar treinamento sobre educação ambiental, controle de qualidade dos produtos e de sistemas | アグロフォレストリー技術及び生産物の品質管理、先遣地視察、環境学習の研修会を開催する。 | ronaldo (RURAP) | 2007/1/3 | 2009/4/1 |
| 3-2.b | Realizar orientação técnica dos ribeirinhos individualmente através de visitas periódicas do equipe executora do projeto e do consultor técnico. | アグロフォレストリー専門家と実行部隊は、日常的にプロジェクトサイトを巡回し個別現地指導を行う。 | ronaldo (RURAP) | 2007/2/1 | 2009/4/30 |
| 3-2.c | Setor executará orientação técnica do produtor de acordo com a condição econômica e atuará como agente facilitador de acesso às linhas de crédito. | 部会は住民の経済状態に応じて指導を行い、融資制度を利用する場合窓口業務を担当する。 | ronaldo (RURAP) | 2007/2/1 | 2009/4/30 |
| 3-3 | Setor encarregará de receber os produtos e promover a comercialização favorável. | アグロフォレストリー部会は、生産物を取りまとめ有利販売を行う。 | jairo (SEICOM) | 2006/11/8 | 2009/4/30 |
| 3-3.a | Obter Certificação Orgânica aos produtos pelo Instituto Brasileiro de Certificação Orgânica | IBM(ブラジル国際有機栽培認証機関)やFSC、GOCAなどからの、認証を検討する。 | ronaldo (RURAP) | 2006/11/8 | 2006/12/24 |
| 3-3.b | Setor organizará a produção e a comercialização | アグロフォレストリー部会は、組織的に生産物の集荷、販売を行う。 | ronaldo (RURAP) | 2007/2/28 | 2009/4/30 |
| 4 | Criar e fortalecer a parceria entre o setor moveleiro e os ribeirinhos | 川岸住民と家具産業の連携体制が構築される。 | jairo (SEICOM) | 2006/5/8 | 2009/4/30 |
| 4-1 | Realizar reunião periódica entre Associação e Setor Moveleiro para trocar idéias/opiniões em fortalecer a parceria | 農林協会と家具業界との間で、連携体制が構築されるための情報交換会議を定期的開催する。 | jairo (SEICOM) | 2006/9/5 | 2009/3/3 |
| 4-1.a | A cada 2 meses, realizar uma reunião de intercâmbio de acordo com os principais tópicos selecionados pelo setor moveleiro e a Associação sob a organização da SEICOM | SEICOMが中心となり、家具産業及び農林協会からの課題を取りまとめ、2ヶ月に一度情報交換会議を開催する。 | jairo (SEICOM) | 2006/9/5 | 2009/3/3 |
| 4-1.a/1 | 1.a reunião de intercâmbio referente principais pontos de discussão: considerações sobre normas, qualidades e preços | 情報交換会議 1 主議題 規格 品質 価格等について検討する。 | jairo (SEICOM) | 2006/9/5 | 2006/9/5 |
| 4-1.a/2 | 2.a reunião de intercâmbio referente principais pontos de discussão: considerações sobre normas, qualidades e preços | 情報交換会議 2 主議題 規格 品質 価格等について検討する。 | jairo (SEICOM) | 2006/11/7 | 2006/11/7 |
| 4-1.a/3 | 3.a reunião de intercâmbio referente principais pontos de discussão: obtenção da licença e do FSC. | 情報交換会議 3 主議題 FSC認証取得について | jairo (SEICOM) | 2007/1/9 | 2007/1/9 |
| 4-1.a/4 | 4.a reunião de intercâmbio referente pontos principais de discussão: conclusão de contrato entre a Associação e o Polo Moveleiro. | 情報交換会議 4 主議題 木工センター、農林協会契約締結について | jairo (SEICOM) | 2007/3/6 | 2007/3/6 |
| 4-1.a/5 | 5.a reunião de intercâmbio referente pontos principais de discussão: conclusão de contrato entre a Associação e o Polo Moveleiro. | 情報交換会議 5 主議題 木工センター、農林協会契約締結について | jairo (SEICOM) | 2007/5/1 | 2007/5/1 |
| 4-1.a/6 | 6.a reunião de intercâmbio | 情報交換会議 6 | jairo (SEICOM) | 2007/7/3 | 2007/7/3 |
| 4-1.a/7 | 7.a reunião de intercâmbio | 情報交換会議 7 | jairo (SEICOM) | 2007/9/4 | 2007/9/4 |
| 4-1.a/8 | 8.a reunião de intercâmbio | 情報交換会議 8 | jairo (SEICOM) | 2007/11/6 | 2007/11/6 |
| 4-1.a/9 | 9.a reunião de intercâmbio | 情報交換会議 9 | jairo (SEICOM) | 2008/1/1 | 2008/1/1 |
| 4-1.a/10 | 10.a reunião de intercâmbio | 情報交換会議 10 | jairo (SEICOM) | 2008/3/4 | 2008/3/4 |

| | | | | | |
|-----------|---|---|-----------------|-----------|------------|
| 4-1.a/11 | 11.a reunião de intercâmbio | 情報交換会議 11 | Jairo (SEICOM) | 2008/5/6 | 2008/5/6 |
| 4-1.a/12 | 12.a reunião de intercâmbio | 情報交換会議 12 | Jairo (SEICOM) | 2008/7/1 | 2008/7/1 |
| 4-1.a/13 | 13.a reunião de intercâmbio | 情報交換会議 13 | Jairo (SEICOM) | 2008/9/2 | 2008/9/2 |
| 4-1.a/14 | 14.a reunião de intercâmbio | 情報交換会議 14 | Jairo (SEICOM) | 2008/11/4 | 2008/11/4 |
| 4-1.a/15 | 15.a reunião de intercâmbio | 情報交換会議 15 | Jairo (SEICOM) | 2009/1/6 | 2009/1/6 |
| 4-1.a/16 | 16.a reunião de intercâmbio | 情報交換会議 16 | Jairo (SEICOM) | 2009/3/3 | 2009/3/3 |
| 4-2 | Será firmado o contrato de fornecimento de madeira pela Associação Agro-florestal e Polo Moveleiro. | 農林協会と木工センターの間で、木材供給について契約が締結される。 | Jairo (SEICOM) | 2006/7/31 | 2009/3/26 |
| 4-2.a | Polo Moveleiro intermediará a comercialização mediante ao resultado da reunião sobre padronização, qualidade e preço. | 情報交換会議で収集した情報を元に、木工センターが契約に必要な規格、品質、価格等を取りまとめる。 | Jairo (SEICOM) | 2006/7/31 | 2006/7/31 |
| 4-2.b | Discutir sobre padrão, preço, qualidade e madeiras especiais entre a Associação Agro-florestal e Setor Moveleiro. | 農林協会と木工センターの間で、規格、価格、品質、特殊材への対応を調整する。 | Jairo (SEICOM) | 2006/9/1 | 2007/5/11 |
| 4-2.c | Associação Agro-florestal firmará contrato com Polo Moveleiro. | 農林協会と木工センターの間で契約を締結する。 | Jairo (SEICOM) | 2007/12/3 | 2007/12/3 |
| 4-2.d | Associação vai explorar a madeira, serrar, classificar e entregar o produto de acordo com a solicitação do Polo Moveleiro. | 農林協会は、木工センターとの契約に応じ伐採、製材、ランク分けを行い、木材を納品する。 | Jairo (SEICOM) | 2007/12/4 | 2009/3/26 |
| 4-3 | Fortalecer a parceria para elevar capacidade empresarial do setor moveleiro para desenvolvimento | 連携体制を継続発展させるため家具業界の企業力を高める。 | Jairo (SEICOM) | 2006/5/8 | 2009/4/30 |
| 4-3.a | Realizar treinamento sobre tecnologia de valorização da madeira. | 木材高付加価値化のための技術研修が実施される。 | Jairo (SEICOM) | 2006/5/8 | 2009/4/30 |
| 4-3.a/1 | Efetuar levantamento da situação dos moveleiros do Amapá. | アマパ州内の家具業者の実態調査を行う。 | Jairo (SEICOM) | 2006/5/8 | 2006/7/31 |
| 4-3.a/1/1 | Efetuar pesquisa do atual mercado de móveis no Estado (volume de produção, espécies de madeiras preferidas, desenho, faixa de preços, etc.) | 州内の家具市場の現状(生産量、好まれる樹種、デザイン、価格帯など)の調査を行う。 | Jairo (SEICOM) | 2006/5/8 | 2006/7/31 |
| 4-3.a/1/2 | Efetuar levantamento das movelarias de Macapá sobre produção anual de móveis com utilização de madeira produzida na várzea. | マカパ市内の家具業者による、氾濫原から生産される木材を用いた家具の年間生産高を調査する。 | Jairo (SEICOM) | 2006/5/8 | 2006/7/31 |
| 4-3.a/1/3 | Dentro das madeiras produzidas na várzea, pesquisar potencialidade das espécies adequadas para produção de móveis, bem como a potencialidade do volume de produção. | 氾濫原から生産される木材のうち、家具生産に適した樹種及びその生産量のポテンシャルを調査する。 | Jairo (SEICOM) | 2006/5/8 | 2006/7/31 |
| 4-3.a/1/4 | Pesquisar a situação atual dos moveleiros (nível técnico, número de pessoas que trabalham na área, renda, sistema de gerenciamento, etc.) | 家具加工業者の現状(技術レベル、従事者数、収入、経営形態など)を調査する。 | Jairo (SEICOM) | 2006/5/8 | 2006/7/31 |
| 4-3.a/2 | Realizar treinamento sobre tecnologia de produção geral na industrialização da madeira. | 木材加工技術全般の研修を実施する。 | Jairo (SEICOM) | 2006/8/14 | 2008/12/12 |
| 4-3.a/2/1 | 1.o Curso de Treinamento de técnica para produção de móveis | 第一回 家具生産技術研修。 | Jairo (SEICOM) | 2006/8/14 | 2006/9/25 |
| 4-3.a/2/2 | 1.o Curso de Treinamento de técnica para produção de pequenos artefatos | 第一回 生活小物生産技術研修 | Jairo (SEICOM) | 2006/11/6 | 2006/12/18 |
| 4-3.a/2/3 | 1.o Curso de Treinamento para técnica de produção de móveis com madeira torcida (cadeira) | 第一回 曲げ木家具技術研修。(椅子) | Jairo (SEICOM) | 2007/2/1 | 2007/3/15 |
| 4-3.a/2/4 | 2.o Curso de Treinamento para técnica de produção de móveis com madeira torcida (cadeira) | 第二回 曲げ木家具技術研修。(椅子) | Jairo (SEICOM) | 2007/5/7 | 2007/6/22 |
| 4-3.a/2/5 | 2.o Curso de Treinamento de técnica para produção de pequenos artefatos | 第二回 生活小物生産技術研修 | Jairo (SEICOM) | 2007/9/6 | 2007/10/19 |
| 4-3.a/2/6 | 3.o Curso de Treinamento de técnica para produção de pequenos artefatos | 第三回 生活小物生産技術研修 | Jairo (SEICOM) | 2008/2/4 | 2008/3/14 |
| 4-3.a/2/7 | 2.o Curso de Treinamento de técnica para produção de móveis | 第二回 家具生産技術研修。 | Jairo (SEICOM) | 2008/5/6 | 2008/6/20 |
| 4-3.a/2/8 | 3.o Curso de Treinamento para técnica de produção de móveis com madeira torcida (cadeira) | 第三回 曲げ木家具技術研修。(椅子) | Jairo (SEICOM) | 2008/9/1 | 2008/10/10 |
| 4-3.a/2/9 | 4.o Curso de Treinamento para técnica de produção de móveis com madeira torcida (cadeira) | 第四回 曲げ木家具技術研修。(椅子) | Jairo (SEICOM) | 2008/11/3 | 2008/12/12 |
| 4-3.a/3 | Realizar treinamento dos marceneiros sobre educação ambiental na área de produção florestal. | 環境教育の視点を加えた家具職人への森林実習と川岸住民の家具工場での研修を実施する。 | Raimundo (SEAF) | 2006/8/4 | 2009/4/30 |
| 4-3.a/4 | Tornar a instalação do centro de treinamento de utilização pública para que os marceneiros possam utilizar | 研修施設を家具業者へ公開利用できるようにする。 | Jairo (SEICOM) | 2007/10/1 | 2009/4/30 |
| 4-3.a/5 | Desenvolver tipo de óleo vegetal como cera natural extraído das sementes florestais da várzea para aplicar nos móveis. | バルゼアから採取される種子から搾油されるもので、家具用塗料に適したオイルを開発する。 | Marcelo (IEPA) | 2006/6/12 | 2007/10/12 |
| 4-3.b | Participação nas feiras de grandes cidades Brasileira. | ブラジル国内の都市部フェアへの出展。 | Juarez (SEBRAE) | 2006/9/15 | 2007/3/15 |
| 4-3.b/1 | Participação em conjunto na feira com o Projeto APL | APLプログラムと共同で、フェアへ参加する。 | Juarez (SEBRAE) | 2007/3/15 | 2007/3/15 |
| 4-3.b/2 | Expor produtos na Feira de Equinox. | エキノックスフェアへ出品する。 | Jairo (SEICOM) | 2006/9/15 | 2006/9/15 |

**RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY,
THE BRAZILIAN COOPERATION AGENCY
AND
AUTHORITIES OF THE STATE GOVERNMENT OF AMAPA CONCERNED,
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
THE SUSTAINABLE USE OF FOREST RESOURCES IN ESTUARY TIDAL
FLOODPLANTS IN AMAPA**

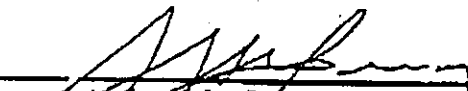
Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") through the Coordinator for Technical Cooperation of Japan in Brazil, exchanged views and had a series of discussions with the Representative of the Brazilian Cooperation Agency (hereinafter referred to as "ABC"), on behalf of the Government of the Federative Republic of Brazil and with the Authorities of the State of Government of Amapa concerned on desirable measures to be taken by both Japanese and Brazilian Governments for successful implementation of the Sustainable Use of Forest Resources in Estuary Tidal Floodplains in Amapa, in the Federative Republic of Brazil (hereinafter referred to as "the Project").


As a result of the discussions, and in accordance with the provision of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of the Federative Republic of Brazil signed in Brasilia on September 22, 1970 (hereinafter referred to as "the Agreement"), the Coordinator for the Technical Cooperation of Japan in Brazil and the representatives of ABC and the Authorities of the State of Government of Amapa agreed upon the matters referred to in the documents attached hereto.

Brasília, August 23th 2005

小林正博

Mr. Masahiro Kobayashi
Coordinator for Technical Cooperation of Japan
in Brazil
Japan International Cooperation Agency (JICA)
Japan


Ambassador Lauro Barbosa da Silva Moreira
Director
Brazilian Cooperation Agency (ABC)
Ministry of External Relations
Federative Republic of Brazil


Mr. Alberto Pereira Goes
Secretary
Special Secretariat of Economic Development
State Government of Amapa
Federative Republic of Brazil

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN THE GOVERNMENT OF JAPAN THROUGH JICA AND THE GOVERNMENT OF THE FEDERATIVE REPUBLIC OF BRAZIL

1. The Government of the Federative Republic of Brazil will implement the Project in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN THROUGH JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provisions of Article III of the Agreement, JICA, as the executing agency for technical cooperation by the Government of JAPAN, the Government of Japan will take, at its own expense, the following measures according to the normal procedures of its technical cooperation scheme.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

JICA will provide the services of the Japanese experts as listed in Annex II. The provision of Article IV- (1) of the Agreement will be applied to the above-mentioned experts and the experts will comply in accordance with Article IV-(1).

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

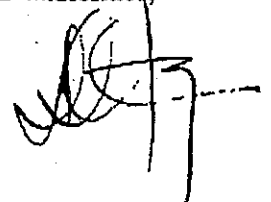
JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as the Equipment) necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III. The provision of Article IV-1 of the Agreement will be applied to the Equipment.

3. TRAINING OF BRAZILIAN PERSONNEL IN JAPAN

JICA will receive the Brazilian personnel connected with the Project for technical training in Japan. The provision of Article III-(i) of the Agreement will be applied to the training.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE FEDERATIVE REPUBLIC OF BRAZIL

1. In accordance with the laws and regulations in force in Brazil, the Government of the Federative Republic of Brazil will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.



IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

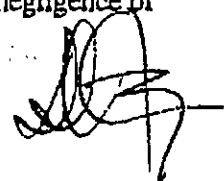
1. The Secretary of Special Secretariat of Economic Development (SEDE), State Government of Amapa, as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. The Director of Scientific and Technological Research Institute (IEPA), Secretariat of Science and Technology, State Government of Amapa and the Secretary of Secretariat of Industry, Commerce and Mineral (SEICOM), State Government of Amapa as the Project Manager, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
3. The Japanese Chief advisor will provide necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project
4. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to Brazilian counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in Annex VI

V. JOINT EVALUATION

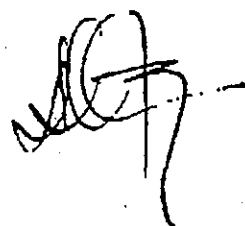
Evaluation of the Project will be conducted jointly by JICA and the Brazilian authorities concerned, during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

In accordance with the provision of Article VII of the Agreement, the Government of the Federative Republic of Brazil undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Federative Republic of Brazil except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts,



2. In accordance with the provisions of Article IV of the Agreement, the Government of the Federative Republic of Brazil will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Brazilian nationals as a result of the Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Federative Republic of Brazil.
3. In accordance with the provisions of Article V, VI and VIII of the Agreement, the Government of the Federative Republic of Brazil will grant in the Federative Republic of Brazil privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. In accordance with the provisions of Article IX of the Agreement, the Government of the Federative Republic of Brazil will take the measures necessary to receive and use the equipment, machinery and materials provided by JICA under II-2 above and equipment, machinery and materials carried in by the Japanese experts referred to in II-1 above.
5. The Government the Federative Republic of Brazil will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Brazilian personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the provision of Article V-(1)-(ii) of the Agreement, the Government of the Federative Republic of Brazil will provide the services of Brazilian counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex IV.
7. In accordance with the provision of Article V-(1)-(i) of the Agreement, the Government of the Federative Republic of Brazil will provide the buildings and facilities as listed in Annex V.
8. In accordance with the laws and regulations in force in the Federative Republic of Brazil, the Government of the Federative Republic of Brazil will take necessary measures to supply or replace at its own expense machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided by JICA under II-2 above.
9. In accordance with the laws and regulations in force in the Federative Republic of Brazil, the Government of the Federative Republic of Brazil will take necessary measures to meet the running expenses necessary for the implementation of the Project.



ANNEX I MASTER PLAN

1 Overall Goal

The livelihood of river dwellers living in the target area will be improved through sustainable use of forest resources on the estuary tidal floodplains in Amapa.

2 Project Purpose

The way of utilizing forest resources for improving the livelihood of river dwellers will be improved in the target area on the estuary tidal floodplains.

3 Outputs

1. A system for the sustainable use of forest resources will be established in the state government of Amapa.
2. River dwellers' awareness for forest management will be raised.
3. Agroforestry techniques will be practiced by river dwellers as a means of improving their livelihood.
4. A collaborative structure will be set up between river dwellers and furniture makers to produce useful timber for furniture in a sustainable and planned way.

4 Activities

[Preparatory Phase : 6 months]

- 0-1 Study the present situation of the tentative target area (natural conditions, social conditions, etc).
- 0-2 Compile information on the State of Amapa Government's policy towards the estuary tidal floodplain.
- 0-3 Survey market and distribution conditions related to the products originating from the estuary tidal floodplain.
- 0-4 Make a survey on the furniture market in Brazil.
- 0-5 Establish a concrete PDM and PO based on the result of the surveys.

- 1-1 Have regular meetings to discuss promoting sustainable use of the estuary tidal floodplain with competent authorities as well as river dwellers.
- 1-2 Decide the leading organization for the sustainable use of the forest resources in the estuary tidal floodplain.
- 1-3 Elaborate the basic policy for the sustainable use of forest resources on the estuary tidal floodplain, taking into consideration the opinion of the river dwellers.

- 2-1 Survey the current situation of the government program on environmental education as well as its contents in the State of Amapa.
- 2-2 Elaborate an implementation plan based on the current situation.
- 2-3 Train SEMA extension workers to acquire implementation skills on environmental education.
- 2-4 Train river dwellers environmental education and the efficient use of forest resources.

(ML)

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

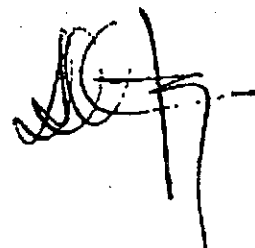
VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of the Federative Republic of Brazil, the Government of the Federative Republic of Brazil will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of the Federative Republic of Brazil.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be three and a-half (3.5) years from first dispatch of the long term expert.

- ANNEX I MASTER PLAN
- ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS
- ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT
- ANNEX IV LIST OF BRAZILIAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL
- ANNEX V LIST OF OFFICE SPACES AND FACILITIES
- ANNEX VI JOINT COORDINATING COMMITTEE



ANNEXII LIST OF JAPANESE EXPERTS

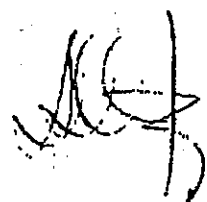
1. Long-Term Experts

Two (2) long-term experts in the fields described below, will be dispatched, serving exclusively for the Project.

- Chief Advisor / Forest Management
- Wood Processing / Project Coordinator

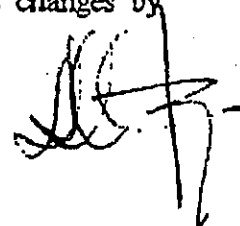
2. Short-Term Experts

Short-term experts may be dispatched depending on the needs as specified in the annual plan of the Project.



- 3-1 Compile information on the interests, needs of river dwellers in regard to the specified agricultural products through the meetings with river dwellers.
 - 3-2 Specify agroforestry techniques fully utilizing the existing research results, including the specified agricultural product.
 - 3-3 Elaborate an agroforestry technical manual.
 - 3-4 Train RURAP extension workers on the aforementioned specified techniques.
 - 3-5 Extend the techniques to river dwellers by the RURAP extension workers.
-
- 4-1 Select trees that can be used for furniture making.
 - 4-2 Compile and analyze available research results and existing information on the selected trees.
 - 4-3 Compile the information about river dwellers' experience in forestation, their awareness regarding the selected trees and their potentiality of use.
 - 4-4 Identify techniques on tree cutting and timber processing that enable highly marketable furniture production.
 - 4-5 Train SEICOM, furniture makers and other people concerned on the above mentioned techniques.
 - 4-6 Develop an information-sharing mechanism among timber producers in the target area including small-scale timber processing operations and furniture makers and the government organization concerned. based on surveys and research led by SEICOM.
 - 4-7 Extend river dwellers and furniture makers on the necessity of contractual production (including afforestation) based on the plan.
 - 4-8 To make a model contract between river dwellers and furniture makers, and support its implementation.

*In case in which the Master Plan should be changed due to the situation of the Project, JICA and the Government of the Federative Republic of Brazil will agree to and confirm the changes by exchanging Minutes of Meeting.



ANNEX IV LIST OF BRAZILIAN COUNTERPARTS AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Project Director

The Secretary of Special Secretariat of Economic Development (SEDE), State Government of Amapa,

2. Project Manager

The Director of Scientific and Technological Research Institute (IEPA), Secretariat of Science and Technology, State Government of Amapa

The Secretary of Secretariat of Industry, Commerce and Mineral (SEICOM), State Government of Amapa

3. Counterpart Personnel

IEPA, SEICOM, SETEC, SEAF, SEMA, EMBRAPA, RURAP, SENAI, SEBRAE, IBAMA, IPAM staffs. (In detailed Counterpart Personnel refer to Plan of Operation.)

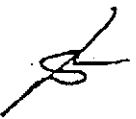
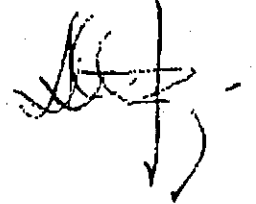
4. Administrative Personnel

Administrative and clerical personnel, drivers and others to support the implementation of the Project.

And other personnel as mutually agreed upon.

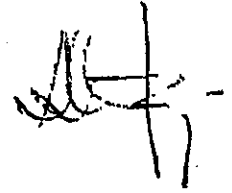
ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. Machinery, equipment, tools, materials and their parts necessary for the implementation of the activities described in the Master Plan
2. Vehicle(s) and their spare parts
3. Office equipment and supplies
4. Other machinery, equipment, tools, materials and their spare parts mutually agreed upon necessary



ANNEX V LIST OF OFFICE SPACES AND FACILITIES

1. Office spaces for JICA experts in the buildings of SEDE
2. Other necessary facilities, equipment and materials for the administration of the Project.



ANNEX VI JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Functions

The Joint Coordinating Committee shall;

- (1) Discuss and decide overall strategies in the management and coordination of the Project,
- (2) Review and endorse the annual plan of the Project,
- (3) Monitor and evaluate the progress of the Project, and
- (4) Make decisions relevant to the overall management of the Project.

2. Compositions

The Joint Coordinating Committee shall be composed of;

- (1) Chairman: The Secretary of Secretariat of Economic Development (SEDE), State Government of Amapa, as the Project Director
- (2) Members:
 - Representative of ABC
 - Project Managers (IEPA and SEICOM)
 - Representative of SETEC
 - Representative of SEAF
 - Representative of SEMA
 - Representative of EMBRAPA
 - Representative of RURAP
 - Representative of SENAI
 - Representative of SEBRAE
 - Representative of IBAMA
 - Representative of IPAM
 - Japanese experts of the Project
 - Coordinator for technical cooperation of Japan in Brazil (JICA Brazil)
 - Others appointed by the Chairman
- (3) Observers: Official(s) of Embassy of Japan and/or consulate of Japan in Belem

3. The Secretariat of the Committee

Special Secretariat of Economic Development (SEDE) will act as the Secretariat of the Committee. The Secretariat will coordinate matters pertaining to the administration of the Committee.

